

タイヤ保管管理システム

物流を支える企業の利便性向上のための取り組み

個人宅から企業、札幌市内から千歳・苫小牧まで幅広く物流事業を行う他、多種多様なものを倉庫で保管する倉庫事業を展開するMOS物流プランニング株式会社。近年、大きな需要があるのがタイヤ保管事業。自動車販売店や自動車整備工場、ガソリンスタンドなどと提携し、夏タイヤ・冬タイヤの保管を行っている。現在では5万本近くを4箇所の倉庫に保管しているという。

タイヤ管理のため5年ほど前に補助金を活用し、タイヤマネ

ジメントクラウドシステム「MOT'S(モッツ)」を開発。ディーラーなどに同システムを導入してもらうことで、FAXや電話でのやりとりではなく、パソコン(オンライン)上で受発注ができるように。これによって顧客側はタイヤ交換のスケジュールが立てられるなどのメリットがあったという。

オンライン上での受発注が可能となったが、同社内ではタイヤの保管場所を手動で入力しなければならなかったり、倉庫の空きスペースを探したりするのも人力だった。

顧客の利便性も向上させ、業務量の圧縮にも挑む

手動作業では記載ミスなどが発生する可能性があったこと、紙で顧客管理を行っていたため保管コストも増えたことから、完全オンラインで管理できるシステムの開発を行った。また、企業ではなく、一般顧客からの注文を受けられるようにするという狙いもあった。

新システム「MOT'S Version2」では、紙の管理を無くし、完全オンラインに移行。アプリを開発し、客はアプリ側から発注ができる。注文を受け付けると、配達ドライバーのスマートフォンで集荷先の地図が表示されるなどの機能も盛り込んだ。集荷したタイヤを倉庫に搬入する際も、倉庫の空きスペースが事前にわかるようにした。タイヤ管理は氏名などを記載したシールを貼り付けていたが、今後はQRコードで管理する。

タイヤ事業部次長の大堀佳世さんは「業務をこれまでの3分の2ほどまで圧縮できればうれしい」と意気込む。1年に2回、タイヤ交換が必須な北海道。ユーザーの利便性が向上するサービスが展開されていくことだろう。

企業の声



タイヤ事業部
次長
大堀 佳世

スマホ1台で業務量を 圧縮できるように

補助金を活用できたことで、妥協せず機能を盛り込みました。運用実績を重ね、便利な機能を増やしていければうれしいですね。



管理する場所に番号を振り、空き状況がシステムで共有される



実際のスマートフォンの画面。使いやすく4つのボタンから操作できるようにした



同社側も管理しやすく、近くのドライバーにすぐ集荷指示を出せる

「知恵と汗を出すことを惜しまない」

ただ当たり前のことを当たり前にする難しさを続け、人を見つめ、人を大事に、温かい心のある企業に、「健康経営」に取り組んでいく。

MOS物流プランニング株式会社

札幌市豊平区月寒東1条20丁目4-19
TEL 011-857-1000
<http://mos-sapporo.com/>

設立 平成16年4月
従業員数 85名
代表者 森 一浩

